

平成 24 年度版

# 愛知の観光振興施策の実施状況

(平成 23 年度年次報告書)



本書は、愛知県観光振興基本条例第9条第6項の規定に基づき、愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の平成23年度の実施状況に関する報告を行うものです。

## 目 次

<b>第1 愛知の観光の現状</b> .....	1
1 観光旅行者の満足度 .....	2
2 県内宿泊者数及び東アジア4か国・地域からの宿泊者数 .....	3
(1) 県内宿泊者数 .....	3
(2) 東アジア4か国・地域からの宿泊者数 .....	3
3 経済的・社会的効果 .....	4
(1) 経済的効果(観光消費額) .....	4
(2) 社会的効果(観光ボランティアガイド数) .....	5
<b>第2 平成23年度における主要な観光振興施策の実施状況</b> .....	6
1 観光資源の発掘・商品化の支援 .....	6
2 プロモーション活動の強化 .....	6
3 観光客の受入体制の充実 .....	9
4 広域観光の推進のための連携強化 .....	9
5 東アジアからの誘客の推進 .....	10
6 MICE(イベント、コンベンション等)の戦略的な誘致 .....	11
<b>第3 平成24年度の主要な観光振興施策</b> .....	12
(参考)愛知県観光振興基本計画推進委員会 .....	14

## 第1 愛知の観光の現状

愛知県観光振興基本計画において、計画期間中(平成22年度～27年度〔6年間〕)の目標として掲げた5つの指標の現況は、次表のとおりであった。

平成23年に、「2(1)、(2)延べ宿泊者数」及び「3(1)観光消費額」の数値が減少したのは、県内観光事業者及び観光関係団体からのヒアリングによれば、東日本大震災に伴う風評被害や自粛の動きなどの影響があったことによるものであると考えられる。

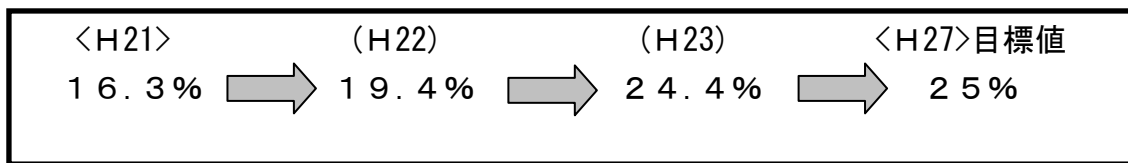
	指標	目標値 (平成27年)	計画当初	平成22年度 年次報告	現況
1 観光旅行者の満足度の向上	観光旅行者の満足度	25%	16.3% (平成21年)	19.4%(注1) (平成22年度)	24.4% (平成23年)
2 観光交流人口の拡大	(1)延べ宿泊者数	1,500万人	1,048万人 (平成20年)	1,144万人(注2) (平成22年)	1,087万人 (平成23年)
	(2)うち東アジア4か国・地域(中、台、韓、香)からの延べ宿泊者数	150万人	49万人 (平成20年)	62万人(注2) (平成22年)	35万人 (平成23年)
3 観光と地域社会の発展	(1)(経済的効果)観光消費額	1兆円	5,300億円 (平成20年)	5,700億円(注1) (平成22年度)	5,050億円 (平成23年)
	(2)(社会的効果)観光ボランティアガイド数	3,000人	2,202人 (平成20年1月)	2,806人 (平成23年1月)	2,712人 (平成24年1月)

(注1)「観光旅行者の満足度」及び「観光消費額」の平成22年度年次報告の数値については、観光庁の全国共通基準による観光入込客統計の平成22年1月-3月期のデータがないことなどから、年度のデータを使用。

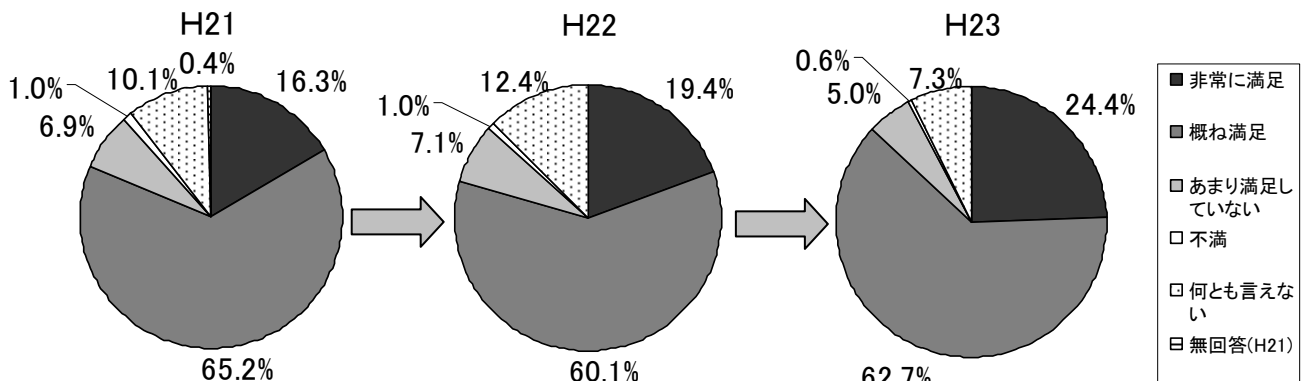
(注2)平成22年度年次報告における「延べ宿泊者数」の数値については、暫定値であったため、今回は確定値を記載。

# 1 観光旅行者の満足度

- 愛知県を訪れる観光旅行者の満足度については、県内観光地で実施するアンケート調査(注)において、「非常に満足」と回答する観光旅行者の割合を 25%とすることを目標としている。
- 平成 23 年のアンケート調査では、24.4%となり、平成 21 年の 16.3%からは 8.1 ポイント、平成 22 年度の 19.4%からは 5.0 ポイント上昇した。
- 同アンケート調査で、「不満に感じた点」としては、「道路が渋滞している」が最も多く、不満を感じた点について回答した者の 21.6%。次いで、「観光地での駐車場が足りない、未整備」が 15.0%と、前回調査と同様の傾向となっている。



<図 1 満足度>



<表 1 不満に感じた点 (上位 5 項目) >

不満に感じた点	割合
道路が渋滞している	21.6%
観光地での駐車場が足りない、未整備	15.0%
観光資源・施設に魅力がない	11.3%
観光地のトイレが不備	10.2%
交通アクセスの便が悪い	9.2%

資料) 愛知県「観光地実態調査」(平成23年)

(注) 県内 10 箇所(名古屋城、東山動植物園、明治村、木曾三川公園 138 タワーパーク、中部国際空港見学者、刈谷ハイウェイオアシス、香嵐溪、道の駅どんぐりの里いなぶ、ラグーナ蒲郡、豊川稲荷)において、四半期ごとの休日に、聴き取りによるアンケート調査を実施。

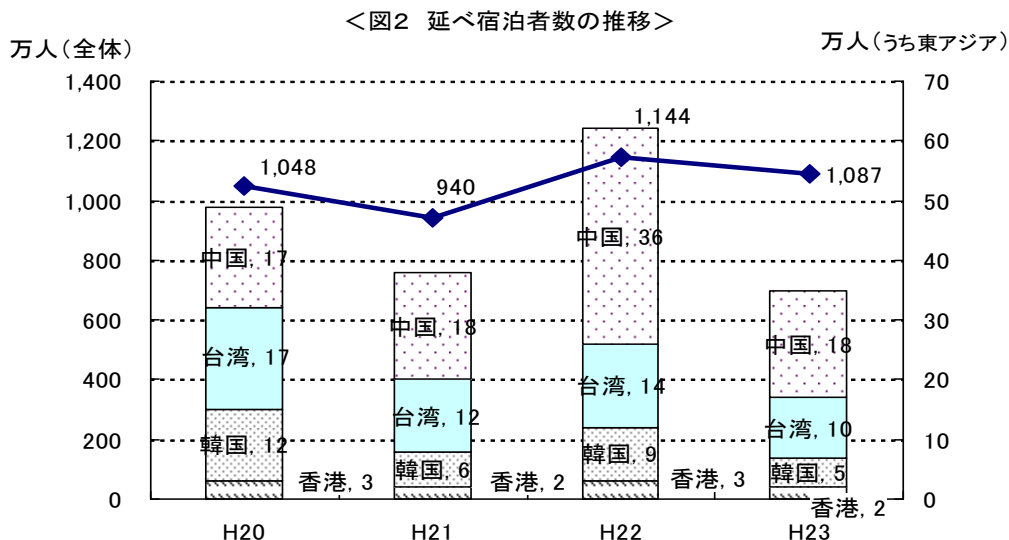
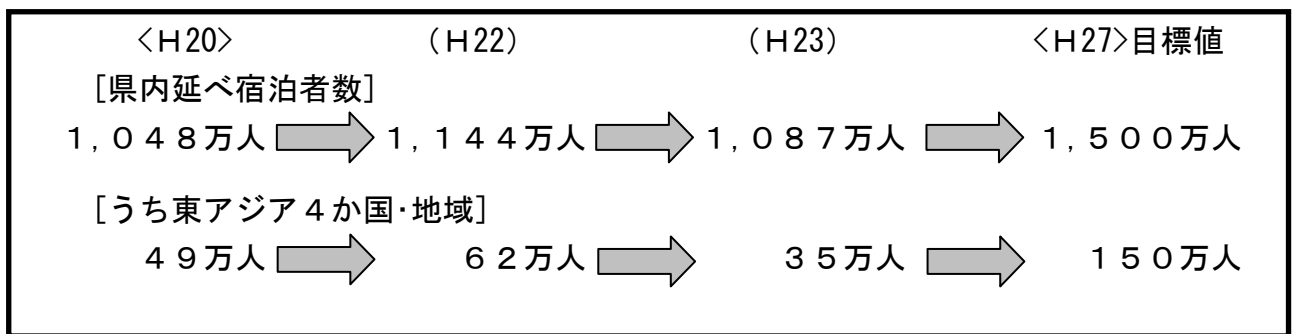
## 2 県内宿泊者数及び東アジア4か国・地域からの宿泊者数

### (1) 県内宿泊者数

- 県内延べ宿泊者数(外国人宿泊者を含む)については、これを1,500万人とすることを目標としている。
- 平成23年には1,087万人となり、平成20年の1,048万人からは39万人増加したが、平成22年の1,144万人からは57万人減少したものと推計される。

### (2) 東アジア4か国・地域からの宿泊者数

- 東アジア4か国・地域(中国、台湾、韓国及び香港)からの延べ宿泊者数については、これを150万人とすることを目標としている。
- 平成23年には35万人となり、平成20年の49万人からは14万人、平成22年の62万人からは27万人減少したものと推計される。
- このうち、中国からの宿泊者数は、18万人と最も多く、平成20年の17万人から1万人増加しているが、平成22年の36万人からは半減している。
- なお上記(1)及び(2)の数値の減少は、県内観光事業者及び観光関係団体からのヒアリングによれば、東日本大震災に伴う風評被害や自粛の動きなどがあったことによるものであると考えられる。

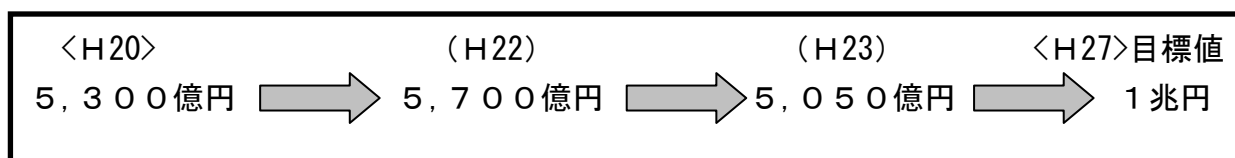


資料)観光庁「宿泊旅行統計調査」

### 3 経済的・社会的効果

#### (1) 経済的効果（観光消費額）

- 県内観光地で実施するアンケート調査〔P2(注)〕において、県内での観光に係る消費金額（宿泊費、交通費、飲食費、土産物代等）に、県内旅行者の実人数を乗じて算出する観光消費額を1兆円とすることを目標としている。
- 平成23年には5,050億円となり、平成20年の5,300億円からは250億円、平成22年度の5,700億円からは650億円減少したものと推測される。(注)
- その内訳としては、県内在住の旅行者が2,270億円、県外在住の旅行者が2,440億円、訪日外国人が340億円となっている。
- なお、この減少は、県内観光事業者及び観光関係団体からのヒアリングによれば、東日本大震災に伴う風評被害や自粛の動きなどがあったことによるものであると考えられる。



＜表2 県内旅行者の観光消費額（平成23年）＞

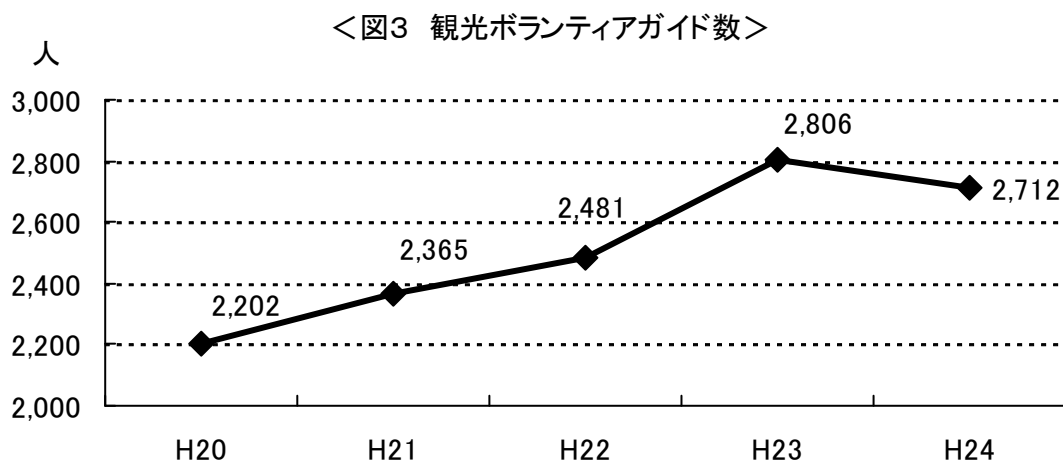
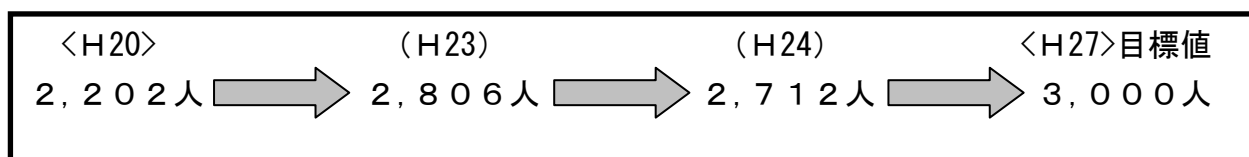
単位：百万円

	宿 泊	日 帰 り	合 計
県内在住者	56,362	171,030	227,392
県外在住者	127,668	116,480	244,148
訪日外国人	33,486	50	33,536
合 計	217,516	287,560	505,076

(注)算出に使用している観光庁提供の宿泊者数データは、平成20年時には、従業員数10人以上の施設を対象としていたが、平成22年4月からは、従業員数10人未満の施設を加え、全宿泊施設を対象としている。

## (2) 社会的効果（観光ボランティアガイド数）

- 観光ボランティアガイド数は、これを 3,000 人とすることを目標としている。
- 平成 24 年 1 月末時点の観光ボランティアガイド数は 2,712 人となり、平成 20 年 1 月末時点の 2,202 人からは 510 人増加したが、平成 23 年 1 月末の 2,806 人からは 94 人減少した。観光ボランティアガイド数は、平成 19 年以降、全国第 1 位となっている。
- なお、この減少は、日本観光振興協会からのヒアリングによれば、東日本大震災後の旅行需要の低迷などの影響を受けたことによるものであると考えられる。



資料) 日本観光振興協会資料(各年 1 月末現在)

<表3 主要都道県の観光ボランティアガイド数（平成 24 年 1 月末現在）>

順位	都道県名	ガイド数(人)	組織数
1	愛知県	2,712	62
2	山形県	1,710	76
3	東京都	1,628	23
4	奈良県	1,590	38
5	北海道	1,511	61
全国計		42,483	1,643

資料) 日本観光振興協会資料



## 第2 平成23年度における主要な観光振興施策の実施状況

施策	内容	担当課室
<p>1 観光資源の発掘・商品化の支援</p>	<p>○観光事業者、ボランティア等を対象とする「あいち観光まちづくりゼミ」を開催し、地域資源を活かした旅行商品の開発を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミ生:51名</li> <li>・観光コースツアー3回(田原市始め3コース(10月～12月))、フォーラム1回等</li> </ul> <p>○県内各地の観光関係団体等から、地域の特色ある観光資源を活用した、ツアー造成やイベント関連の企画を公募し、その中から特に事業効果の高い企画の商品化等を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施団体: (公財)名古屋観光コンベンションビューロー、日間賀島観光協会、豊橋観光コンベンション協会、知立市観光協会</li> </ul> <p>○歴史観光のシンボルである名古屋城の歴史的・文化的価値と魅力を高めるため、名古屋市が行う本丸御殿の復元工事を支援した(経費の一部を助成)。</p>	<p>観光コンベンション課</p>
<p>2 プロモーション活動の強化</p>	<p>【武将観光】</p> <p>○平成21年度に選定した「武将のふるさと愛知100選」を元に、テーマ別に戦国武将ゆかりの史跡を巡る「武将のふるさと愛知スタンプラリー」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間:8月1日～2月29日</li> <li>・参加施設数:60施設</li> <li>・記念品応募者数:4,190名</li> </ul> <p>○「愛知ゆかりの武将講座」を開催し、武将観光ブランドの浸透を図り、武将観光地への誘客を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数:1回</li> <li>・参加者数:405名</li> </ul> <p>○「あいち戦国姫隊」を結成し、犬山城・岡崎城・清州城での拠点活動、県内外のイベントで、武将観光の魅力をPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動期間:8月4日～3月31日</li> <li>・活動実績:237件</li> </ul>	<p>観光コンベンション課</p>

施 策	内 容	担当課室
	<p>○信長・秀吉・家康の三英傑ゆかりの地や関連イベントを紹介するパンフレットを作成し、テーマ別モデルコースのPRを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成部数:計 11,000 部</li> </ul> <p><b>【産業観光】</b></p> <p>○県及び(社)愛知県観光協会のホームページ「あいちの産業観光」において、産業観光施設やモデルコースを紹介した。</p> <p>○本県、岐阜及び三重の3県が連携し、「産業観光スタンプラリー」を実施し、産業観光施設への誘客を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間:7月16日～9月30日</li> <li>・参加施設数:208施設(うち愛知県は80施設)</li> <li>・総入場者数:26,790名</li> </ul> <p><b>【街道観光】</b></p> <p>○東海道沿線の6市(名古屋、豊明、知立、岡崎、豊川及び豊橋)との連携の下、古い町並みを活かしたウォーキングイベント「東海道キャンペーン トコトコ東海道」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間:9月～11月</li> <li>・参加者数:延べ 5,790名</li> </ul> <p><b>【都市観光】</b></p> <p>○県及び(社)愛知県観光協会のホームページにおいて、「愛知グルメ図鑑」を掲載し、「名古屋めし」や郷土食等のグルメ情報を発信するとともに、同協会が、グルメや土産品を紹介したパンフレット「うみやあ亭」を作成し、本県の食をPRした。</p> <p>○(公財)名古屋観光コンベンションビューローから提案のあった「NAGOYAナイト観光魅力発掘プロジェクト」を通じ、堀川ナイトクルーズを始めとする4ツアーを支援することにより、名古屋市の夜の観光の魅力づくりを推進した。</p>	<p>観光コンベンション課</p>

施策	内容	担当課室
	<p><b>【知多半島観光圏】</b></p> <p>○観光圏整備法に基づき国の認定を受けた「知多半島観光圏協議会」の取組を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知多半島観光圏での受入体制の整備を行うため、着地型商品の開発・造成を支援するとともに、県内外の旅行会社へのPRを行った。</li> <li>・知多半島観光圏の宣伝、誘客のため、福岡県で観光展開催</li> </ul> <p><b>【情報発信】</b></p> <p>○市町村から、名所・旧跡・祭り・伝統行事などの図案を公募し、知事等の名刺に使用することにより、県内の魅力ある観光資源をPRした。</p> <p>○(社)愛知県観光協会のホームページや発刊誌において、祭りなど、四季折々のイベントを紹介し、本県の多彩なイベントをPRした。</p> <p>○市町村等が行う観光展・イベントの開催、情報発信等に対して必要な経費の一部を助成し、県内観光地の魅力の発信を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成件数:9件</li> </ul> <p>○県産品アンテナショップ「ピピッと！あいち」において、各地の特色ある商品(生鮮食品、加工食品、工芸品等)を展示・販売した。併せて、県内外の観光物産展への出展を通じ、県産品の情報発信、販路拡大を図るとともに、本県の観光をPRした。</p> <p>○東日本大震災の被災地域である東北6県の復興支援及び本県の観光物産の普及を図るため、東北6県と本県・名古屋市との合同観光物産フェアを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間:5月24日～30日</li> <li>・場所:「ピピッと！あいち」</li> <li>・出品数:87品目(青森10、秋田15、岩手17、宮城15、山形7、福島23)</li> </ul>	<p>観光コンベンション課</p>

施策	内容	担当課室
<p><b>3 観光客の受入体制の充実</b></p>	<p>○「おもてなし愛知県民会議」を開催し、県全体で、おもてなしの気運の醸成を図った。  (開催日:12月26日、参加団体数:行政、観光関係団体、観光事業者、商工団体、地域住民団体 89団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同会議のシンボルマーク(ロゴ)の決定</li> <li>・「おもてなし宣言」の公募</li> <li>・同会議の下に、「国内観光客部会」を発足させ、「海外観光客部会」と合同で、バリアフリーや多言語案内表示の充実など、旅行者の利便性の向上に向けた情報交換を実施</li> </ul> <p>○観光ボランティアガイドを対象とする「産業観光あないびと育成研修」を実施し、地域における産業観光の受入体制の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会開催回数: 2回</li> <li>・参加者数:延べ 97名</li> </ul> <p>○(社)愛知県観光協会内に設置した「訪日教育旅行推進センター」が県内学校と調整を行い、海外から修学旅行者の受入を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国を始めとする4か国・6団体 126名</li> </ul> <p>○市町村が行う観光案内板、トイレ等の施設整備に対し、必要な経費の一部を助成し、県内観光地の利便性、快適性の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成件数: 9市町村 13施設</li> </ul>	<p>観光コンベンション課</p>
<p><b>4 広域観光の推進のための連携強化</b></p>	<p>○「中部広域観光推進協議会」(愛知、岐阜、三重、静岡、富山、石川、福井、長野及び滋賀の9県、名古屋、静岡及び浜松の3市で構成)において、海外でのプロモーション活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国: 上海での政府機関表敬、航空会社・マスメディア、旅行会社への訪問・PR(5団体)、観光セミナー・商談会の開催(40社)</li> <li>・韓国: 観光セミナー・交流会の開催(ソウル47社、プサン45社)、現地旅行会社、航空会社への訪問セールス(8社)</li> <li>・台湾: 台北国際旅行博(ITF2011)への出展、政府機関表敬、現地旅行会社・航空会社への訪問セールス(20社)、商談会の開催(113社)</li> <li>・香港: 政府機関表敬、航空会社・マスメディアへの訪問・PR(3団体)、商談会の開催(70社)</li> <li>・タイ: 国際旅行博(TITF)への出展、現地旅行会社への訪問セールス(14社)</li> <li>・シンガポール、インドネシア: 主要メディア関係者の招聘</li> </ul>	<p>観光コンベンション課</p>



施 策	内 容	担当課室
	<p>○「中部広域観光推進協議会」及び「東海地区外国人観光客誘致促進協議会」を通じ、海外でのプロモーション活動を実施した。《再掲》</p> <p>○中国、香港等の中華圏に対し、中部の観光地をPRする「昇龍道プロジェクト推進協議会」に参画した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設立:3月9日</li> <li>・構成員:国、中部9県の自治体、経済団体、観光団体、観光事業者等 《再掲》</li> </ul> <p>○信長、家康ゆかりの地を紹介した多言語ガイドブックを作成し、東アジアに向けて、武将観光のPRを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成部数:40,000部 (中(簡体・繁体)・英・韓、各5,000部(2種類))</li> </ul> <p>○(社)愛知県観光協会内に設置した「訪日教育旅行推進センター」が、県内学校と調整を行い、海外から修学旅行者の受入を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国を始めとする4か国・6団体126名 《再掲》</li> </ul>	観光コンベンション課
6 MICE (イベント、コンベンション等)の戦略的な誘致	<p>○MICE誘致推進の基礎資料とするため、企業等の会議、報奨研修旅行の実態等について調査した。</p> <p>○「持続発展教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」(平成26年)の誘致活動に取り組んだ結果、本県・名古屋市が開催地に決定された。これを受け、支援準備委員会を設立した。</p> <p>○「2012国際航空宇宙展(JA2012)」及び「第29回ISTS宇宙技術および科学の国際シンポジウム」(平成25年)の開催に向け、支援の準備を行った。</p> <p>○「あいちトリエンナーレ2013」の開催準備として、芸術監督の人選及び企画概要、テーマ・コンセプトを決定した。</p> <p>※ 「MICE」とは、企業などが行う会議(Meeting)、企業が行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字のこと。</p>	<p>観光コンベンション課</p> <p>観光コンベンション課 環境政策課</p> <p>新産業課</p> <p>国際芸術祭推進室</p>

### 第3 平成24年度の主要な観光振興施策

#### 1 観光資源の発掘・商品化の支援

##### ○地域提案公募による観光の振興

地域の観光関係団体等から、環境観光、グリーンツーリズム、ベイツーリズムなど、地域資源を活用したツアー造成やイベント開催の企画を公募し、その中から、特に事業効果の高いものについて、商品化等を支援する。

##### ○着地型旅行商品の開発の促進

「あいち観光まちづくりゼミ」において、ゼミ生が企画した観光コースについて、一般客を対象としたツアーを実施し、その意見を踏まえ、さらに魅力のある観光コースの商品化を促進する。

#### 2 プロモーション活動の強化

##### ○トッププロモーションの実施

名古屋市と連携し、首都圏及び関西圏において、観光トッププロモーションイベントを開催し、大きな観光需要が見込まれるそれらの地域からの観光客の拡大を図る。

##### ○観光キャンペーンの展開

官民一体となったPRイベントの開催や旅行会社に対するPR活動などの観光キャンペーンを展開し、内外からの観光客の拡大を図る。

#### 3 観光客の受入体制の充実

##### ○「おもてなし愛知県民会議」の活動の推進

県全体でおもてなしの機運を醸成するため、おもてなし宣言の公募、ポスター、ステッカー等による啓発を行うとともに、バリアフリーの充実や案内表示の多言語化、銀聯カードの普及など、内外からの観光客の利便性向上を図る。

#### 4 広域観光の推進のための連携強化

##### ○他県等との連携による観光プロモーション活動等の実施

「中部広域観光推進協議会」や「東海地区外国人観光客誘致促進協議会」の活動を通じ、内外からの観光展への出展、周遊コースの造成支援、現地旅行会社の招聘、セミナーの開催等により、観光客の拡大を図る。

##### ○中華圏を対象とするプロモーション活動の実施

「昇龍道プロジェクト推進協議会」が実施する中華圏を対象にした観光プロモーション事業に参加し、当地の知名度アップ及び当該地域からの観光客の拡大を図る。

## 5 東アジアからの誘客の推進

### ○中国を対象とするプロモーション活動の実施

個人観光ビザ発給の要件が緩和され、今後、訪日観光客の増加が見込める中国からの誘客を推進するため、広東省(広州市・深圳市)において、商談会を中心としたプロモーション活動を実施する。

### ○韓国を対象とするプロモーション活動の実施

東日本大震災に伴う風評被害からの回復が遅れている韓国からの観光客を呼び戻すため、本県の観光の魅力をPRするプロモーション活動を実施するとともに「食」をテーマにした観光物産展を開催する。

## 6 MICE（イベント、コンベンション等）の戦略的な誘致・支援

### ○MICE誘致の推進

首都圏において、県・名古屋市がMICEの開催適地であること情報発信するためのPR活動を実施する。

### ○アフターコンベンションの実施の働きかけ

MICE主催者に対し、MICEにおけるアフターコンベンション(レセプション、エクスカージョン(視察旅行)等)の実施を働きかける。

### ○大型イベントの開催準備・支援

「メッセナゴヤ2012」及び「あいち花フェスタ2012」の開催準備を進めるとともに、「2012国際航空宇宙展(JA2012)」の開催を支援する。また、「あいちトリエンナーレ2013」の開催準備に取り組む。



**(参考) 愛知県観光振興基本計画推進委員会**

「愛知県観光振興基本計画」の議会への報告及び公表に当たり、下表の委員で構成する「愛知県観光振興基本計画推進委員会」を開催し、基本計画に基づく施策の実施状況や今後の施策展開に対するご意見をいただいた。

(五十音順・敬称略)

氏名	所属・職名
西村 哲治	社団法人日本観光振興協会中部支部事務局長
長谷川 二三夫	公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー 専務理事
(委員長) 森川 敏育	桜花学園大学観光総合研究所所長
山内 均	社団法人愛知県観光協会専務理事
山本 勝子	日本福祉大学知多半島総合研究所副所長
山本 正雄	名古屋市市民経済局文化観光部長

平成24年度版愛知の観光振興施策の実施状況

(平成23年度年次報告書)

平成24年10月発行

愛知県産業労働部観光コンベンション課

〒460-8501名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6353(ダイヤルイン)

ホームページ:<http://www.pref.aichi.jp/kanko/>